

地域経済などへの影響大、関係住民の意見をしっかりと聴くべき 上越市、「新上越斎場の供用開始」とともに「頸北斎場は廃止」方針打ち出す



ことです。新斎場の供用開始に伴い、柿崎区にある頸北斎場は閉じ、妙高市の経塚斎場を利用

する。この方針について委員会では田中、平良木、牧田議員などが次々と質問に立ちました。

上越市は26日に開催された市議会厚生常任委員会（草間敏幸委員長）で、平成33年度までに合併特例債を活用して新斎場を建設し、供用開始する方針を明らかにしました。建設場所は現在の上越斎場の北側を予定しているとの見解が示されました。日本共産党議員団の平良木哲也議員（写真）は、「こうしたことを念頭に、新築ではなく、長寿命化で対応できないか、合併協定書にどう記載されているか、複数の斎場となっても合併特例債の活用はできるのではないか、頸北斎場を廃止するかどうかをこの地域協議会に諮問するかなどについて質問を行いました。」



【アキノキリンソウ】キク科の多年草。漢字で「秋の麒麟草」と書きます。山すその日当たりのいい場所にあります。花は黄色、8月から11月頃まで楽しめます。写真は吉川区代石にて撮影しました。

頸北斎場廃止の記述無し

平良木議員はまず、「いろいろな不具合が生じてきていることは分かるが、増築しながら修繕も重ねていくなどの方法と新築する方法とで経費の比較検討をしたか」と質問しました。これに

対して横山健康づくり推進課長は、「火葬施設なので増築は容易ではない。今後、団塊世代が死亡期を迎える」と約1・2倍必要となってくる。市民のニーズも多様化してきている。それに配慮した対応が必要だ。大規模修繕と新築を比較した資料は持ち合わせていない」と答えました。この費用比較数値は委員会として資料要求することになりました。

同議員は次に、「新斎場を造ることにより、来年から予定されている経塚斎場利用者への補助はなくなるのか。」

頸北斎場は廃止となるのか」と質問。八木健康福祉部長は、「経塚斎場への補助は新斎場の供用開始をめぐりに打ち切りとさせていただきます。合併特例債を使うものですから頸北斎場は廃止とさせていただきます」と答えました。

この合併特例債の活用については、平良木議員が総務省の「合併特例債の対象」に関する文書を読み上げ、「新市の均衡ある発展に資する整備」として頸北斎場を残しても活用は可能ではないかとたどりました。八木部長は、「ぎりぎりまで詰めている認識はない。しかし、仮に残した場合、結果的には修繕費用などが増していく。全市的な視点で考えていきたい。ただ、押し付けた形にはしてまいりません」とのべました。

注目の合併協定書への記載ですが、新斎場建設については記載されているものの、頸北斎場の廃止は記載されておらず、今回の基本構想をまとめる段階で廃止方針としたことが横山課長の答弁で明らかになりました。

平良木議員はまた、「頸北斎場は廃止となると、地域経済などに大きな影響が出る。この斎場は旧大潟、柿崎、吉川の3町が金を出し合っただけのもの。3区の住民からキチンと意見を集約してそれに従うべきではないか。諮問については3区の地域協議会にするべきだ」と主張しましたが、横山課長は、「条例に従い、新築については予定地の直江津区地域協議会、廃止は所在地の柿崎区とする」と答えるにとどまりました。

新斎場施設の概要（案）

区分	新上越斎場	既存斎場
火葬炉	7～8基、動物炉1基	4基、汚物炉1基
主な施設機能	待合室7～8室、多目的室1室 告別室及び収骨室（2基1室、 炉前ホール兼用）、待合ロビー、 キッズコーナー（幼児遊び場）、授乳室	待合室5室（祭事室含む）、告別ホール、 収骨室、炉前ホール、待合コーナー
面積（延床）	3,000～4,000㎡（想定）	1,367.21㎡

柿崎など3区の火葬件数、斎場別利用率（昨年度）

地区	上越斎場		頸北斎場	
	火葬件数	斎場別利用率	火葬件数	斎場別利用率
柿崎区	9	6%	150	94%
大潟区	34	26%	97	74%
吉川区	12	16%	61	84%

はしづめ法一の
活動レポート

No.1780 2016.10.30
発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
Tel 025-548-3628
通じないときは 090-5392-1961
E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp
URL http://www.hose1.jp/

ブログ「ホーセの見たある記」はこちら

橋爪法一 検索

春よ来い

第四二八回

初恋

それは秋が深まり、寒さが少しずつ厳しさを増していった一〇月のある日のことでした。その日は市議と地元生産組合関係者など十数人が集まった収穫祭でした。出されたご馳走のうち、私が大好きな卵とじを食べて間もなく、突如、「彼女」はやってきたのです。

身長は約一〇〇センチ、横幅約二〇センチの「彼女」は私の前にやってくると、無言でじつと私を見つめ続けました。さて、いったい何の用があるのだろうかと思議な顔をしていると、「彼女」を抱いてきた長身のHさんが、「橋爪さん、これ持って行ってくれない」と言って緑色の肌をした「彼女」を私の前に差し出したのであります。

「彼女」の名前は「初恋」という名前なんだそうです。びっくりしましたね、まさかきゅっと引き締まったキャベツにそんな素敵な名前が付いているとは……。

キャベツを差し出したHさんは、続けてこう言いました。「これねえ、車一台に積んで『あるるん』へ持って行くわけじゃない金になるんだわ。売って儲ければ、女衆が元気になるんさ。これからは、そういう取組をしていかんきやならんね」と。この「初恋」、枝豆や玉ねぎの後作（あとさく）としてKさんたちの生産組合で試験的に作ったのだそうですが、それが当たりました。気候が合っていたのかも知れませ

ん。私はHさんから「初恋」をいただいですぐに、「初恋」を手にしたHさんの写真をインターネットで発信しました。タイトルは言うまでもなく「初恋」。写真の説明文には、「初恋をいただきました。柔らかくて、ちよっぴり甘いんだそうです。私はもう初恋という歳ではありませんが、初恋はするものであって、食べられるものだとは思ってもみませんでした」と書きま

がいくつもきたのでHさんのところへスマートフォン（高機能携帯電話）を持って行き、「ほら、もう反応がありましたよ」と言うと、Hさんはうれしそうに、「『初恋』いいですねえ。今、酒の肴に生キャベツをむきながら流行っているそうですね」というコメントを読み上げました。私とHさんが楽しく対話しているところへ、定年退職して農業に打ち込んでいるMさんも加わってきました。Mさんは稲作を中心にした経営をしますが、「猷夏（けんか）37号」という夏ダイコンを作ったところ、ちょうど地元産のダイコンがなくなる時期に生産したこともあって、うまくいったと言いました。この名前もなかなかしやれていきます。私とHさん、Mさんの三人はカリフラワールについても語りあいました。七月から九月末にかけて生産組合のみなさんが栽培しているカリフラワールは、「バージンロード」、「ホワイトパラソル」、「ゆきまつり」の三種種だとか。名前とともに特徴を説明したHさん、「ゆきまつり」のときは、両手をふわふわと広げて紹介し、ここでも「いい名前だろね」と言いました。私が一番最初に野菜の素敵な名前と出合ったのは、二年ほど前です。面白いことに、収穫祭の会場となった飯田邸からそう遠くないところに住んでいるKさんのカボチャでした。その名前は「雪化粧」、表面は雪のように白っぽく、茹でるとホクホク感のある美味しい味でした。さて、いただいた「初恋」ですが、その日の夜に食べてみました。台所に持って行き、キャベツのはいだ一枚をお湯でさっと洗い、手のひらに載せると、くるつと巻き入れました。まさにロールキャベツです。口に入れると歯ごたえもありました。「味はいかがでしたか」ですって。もちろん、「初恋」の味でした。

上越市での「戦争展」、貴重な史資料とともに新作品も展示

22日、23日と市民プラザのホールで開催されていた「戦争展」を見ってきました。

戦争展には貴重な史資料がいくつもあります。旧源村（現在の吉川区

源地区）の満州開拓団の記録や米軍が先の大戦末期に作成したとされる無差別じゅうたん爆撃の目標計画順位表（180都市）などが展示されていました。満蒙開拓団の展示には私が長年お世話になった故石塚利雄さんの言葉もありました。空爆の対象としては新潟市は32番目、長岡市は73番目、高田市は168番目でした。

今回の「戦争展」では、いま、再び戦争を起こさせてはならないとたたかっている人たちの作品も出されています。

長テーブルふたつ分の長さにもなる吉田洋子さんの「アンパンマンに学んで」と題した絵は、平和の願いや原発事故に苦しむ人たちを思い制作されたものです。「生きる意味を見失っている人にアンパンマンのマーチが届きますように」という言葉に優しさを感じました。見事な色彩感覚と平和感覚で作成された佐藤やまねさんの切り絵も注目を集めました。切り絵に書



きこまれた「戦争の記憶が遠ざかる時、戦争がまた私達に近づく」という言葉は詩人、石垣りんの詩にある言葉です。現在も行われている戦争法廃止を求める運動を追った宮川さんの写真（上の写真左上）も「すごいね」と話題になっていました。

上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16 μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	10月19日(水)	10月26日(水)
上越南消防署	0.040	0.047
上越北消防署	0.057	0.057
新井消防署	0.050	0.047
頸北消防署	0.047	0.053
頸南消防署	0.047	0.057
東頸消防署	0.057	0.043
高士分遣所	0.043	0.050
名立分遣所	0.057	0.053